

平成30年秋季俳句講座

「自作を語る(8)」

期 日 10月9日～10月30日 4回

毎回午後2時～3時30分(90分)

会 場 俳句文学館

TEL 03(3367)6621

道 順 JR・大久保駅北口(中野駅寄り)

下車徒歩6分

会 費 (一般) (協会員)

(全期間) 4000円 3000円

(一日券) 1200円 1000円

申込方法 郵便葉書によるお申し込みとなります。

郵便葉書に①受講希望日(全期間あるいは希望日)

②郵便番号・住所③氏名④電話番号⑤俳人

協会会員の場合には会員番号を明記の上、左記

までお送り下さい。

送り先 〒169-8521 東京都新宿区百人町3-28-10

公益社団法人 俳人協会俳句講座係

申込締切は、9月3日(月)必着でお願いいたします。

定員は70名、応募多数の場合は抽選とし、9月

22日(土)までに結果及び受講券をお送りします。

受講料は、講座受付時にお支払い下さい。

月 日	演 題	講 演 者
10月9日(火)	「俳句と私」	星野恒彦
10月16日(火)	「出会い、そして選択」	池田澄子
10月23日(火)	「俳句は、追慕と鎮魂」	栗田やすし
10月30日(火)	「十七音の内と外」	正木ゆう子

開場 午後1時30分

平成30年秋季俳句講座

テーマ紹介

◆第1回講師―星野恒彦「俳句と私」

英米詩を研究し、教えもしていた身が、いつ頃からいかにして、無関心だった俳句の擒となったのか。人との偶然の縁と国際的な時代の趨勢を抜きには語れない。四十年の句歴を顧みる。

◆第2回講師―池田澄子「出会い、そして選択」

四十歳近くに俳句に出会った。三橋敏雄の俳句に出会い私淑のち師事した。無数の言葉の中の少しの言葉に出会い、私に出会った、かしら？ などと思ひながら。

◆第3回講師―栗田やすし「俳句は、追慕と鎮魂」

学生時代に俳句に誘われて以来六十年、今日まで句作を続けて来られたのも、俳句を通して故人と語り、自らの生き様を見据えようとして来たからであろう。

◆第4回講師―正木ゆう子「十七音の内と外」

ゆつくりと、私と共に、俳句も歩いて来た気がします。ある時はびったりと寄り添い、あるときは悲しみの受け皿となって、ある時は私の前を歩いて。そんな俳句の「内と外」です。